

# 地域創造グループ基本方針

担当副理事長 田中 賢一

戦後、技術革新が加速し私たちを取り巻く環境は目まぐるしく変化しています。利便性が向上し情報化が進む現在だからこそ、南九州の広域交流拠点都市と成り得るこの都城圏域の可能性を最大限に引き出し発信するとともに、失われつつある人として生きていくための本質を大切にしなければなりません。変革の能動者である我々 J C がまちと子ども達の未来のために、環境の変化に適応しながらも持続可能な地域社会を創造する必要があります。

まずは、地域の特性と時代のニーズを融合したまちづくりを実現するために、この地域の地理的優位性、潜在する資源や文化を活かしたここだけの魅力を掘り起こし打ち出していくことが求められます。そして、知恵と工夫を凝らすことによって付加価値を高め、既存概念にとらわれない革新的な考えで地域を創造する機会を創出するとともに、この圏域の地域発信を幅広く行います。また、第6回目となる「肉と焼酎のふるさと・みやこんじょ花火大会」では「安心・安全」且つ魅力的に構築するとともに市民意識調査を実施・検証することで今後の展開に繋げていきます。つぎに、情報の氾濫や社会生活が希薄化する等、社会環境や家庭環境の急激な変化に伴いライフスタイルが多様化し子ども達が自分の将来を自分で決められる現在、依存・孤独ではなく自分で力を蓄えてしっかりと歩みだせる力を身につけていく為、情報に左右されない自尊心の向上と相手を思いやる心の育成に繋がる機会を創出します。さらに、大人と子どもが共に学び、生きる力を育むために押しつけではなく、自由な発想で子どもの想像力を刺激し生きる力を養える機会を構築します。

真の南九州広域交流拠点都市となった都城圏域は、人がいきいきと暮らし、産業が活性化するとともに多様性満ちた豊かさで中心的役割を担い、子ども達と共に成長した私たちはこの地域の将来をより明るく照らし、笑顔溢れる持続可能な未来を創造します。